き　ず　な 代　表　質　問	議会事務局 処　理　欄	令和７年１１月１４日　１１時１６分　受付 質　問　順　位　第　１　番

武豊町議会議長　石川　よしはる　殿

武豊町議会議員　　鈴木　絢賀

一　般　質　問　の　通　告　に　つ　い　て

令和７年第４回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質　問　事　項	質問の要旨
１．名鉄知多武豊駅西グランドデザインについて	【趣旨説明】 武豊町が策定した「名鉄知多武豊駅西グランドデザイン」は、町の玄関口である JR 武豊駅および名鉄知多武豊駅周辺の再整備を通じて、本町の魅力向上と持続可能なまちづくりを目指す重要な構想です。特に「にぎわいストリート軸」は、JR 武豊駅～みゆき通り～名鉄知多武豊駅～中央公園へと続くエリアで、町民の交流や回遊性を高め、地域経済の活性化にも寄与するまちづくりの核となり得る要素です。 計画の実現には、行政の着実な推進力と住民との合意形成、さらには財政的な裏付けと官民連携の工夫が不可欠です。町民の期待に応えるためには構想にとどまることなく、具体的な整備工程や支援策、にぎわい創出の仕掛けを明確にしていく必要があります。 「駅西グランドデザイン」の整備を通じて、武豊町をより魅力的でにぎわいのある町にしていくために、行政としてどのような方針と戦略を描いているのかを問いたいと考えます。
	【質問事項】 ① 「駅西グランドデザイン」の各フェーズ（短期・中期・長期）の進捗状況はどうか。内容に変更はないか。 ② 役場庁舎整備計画の現状は。 ③ みゆき通り東端の交差点改良について、本年度 8 月に説明会があったが、町民の反応を町としてどう捉えているか。また、計画にある「ラウンドアバウト」部分を含む道路幅員の確保のため、案として鉄道事業者保有地は検討・協議をしたか。 ④ 今後の整備にあたり、住民との意見交換の場をどのように設ける予定か。特に、地元商業者や若年層・高齢者など多様な層の意見をどう取り入れていくのか。 ⑤ 民間事業者との連携（PPP/PFI など）や民間活力の導入余地について可能性と検討状況は。 ⑥ 「にぎわいストリート軸」エリアの沿道に民有地としての空き地や空き家はあるか。また、民有地の利活用に向けた支援策や誘導策はあるか。 ⑦ 町の財政への影響や、他事業へのしわ寄せの懸念はないか。

<table>
<tr><td rowspan="2">２．建築物耐震改修促進計画について</td><td>【趣旨説明】
武豊町では令和 3 年度から令和 12 年度までを計画期間とする「建築物耐震改修促進計画」を策定し、町内の住宅や公共施設、民間建築物の耐震化を推進しています。南海トラフ地震などの大規模災害が懸念される中、町民の命と暮らしを守るために、耐震化の着実な推進が必要です。
また、「名鉄知多武豊駅西グランドデザイン」において、にぎわい創出を目指す「にぎわいストリート軸」は歩いて楽しい“ウォーカブル”な空間の創出を目指しており、災害時の避難経路や歩行者空間としての安全性確保が重要です。
本質問では「駅西グランドデザイン」と「耐震改修促進計画」を横断的に捉え、町民や来訪者の安全性確保とにぎわい創出を両立させるため、以下の点について伺います。</td></tr>
<tr><td>【質問事項】
① 平成 30 年度時点においての町全体の耐震化率は約 85.9%で、全国の 87.0%、愛知県の 89.7%と比較しやや低い状況であった。現状の割合はどうなっているか。
② 「駅西グランドデザイン」の対象地内、とりわけ「にぎわいストリート軸」エリアの沿道に、耐震診断未実施または耐震改修未済の建築物はあるか。
③ 令和 7 年度の町全体における耐震化率目標は約 95%と設定しているが、「駅西グランドデザイン」エリアの耐震化率目標値もこれと同様か。</td></tr>
</table>